

秋田 営業所だより

秋田で暴風雪被害が多発! ?



秋田では今年の1月8日、暴風雪によってさまざまな被害が多発しました。寒波による雪と非常に強い風が同時に発生し営業所がある能代山本で1万4千戸以上の停電、倉庫やカーポートの倒壊、吹き溜まりによる車の立ち往生、倒れた複数の電柱など多方面にわたり被害が続出しました・・・そして、他県でも同様なニュースを目にしました。



←秋田営業所での被害はエアコン室外機のカバーが大破した程度で不幸中の幸いでした。

~New Staff のご紹介~

1月より新たに仲間となりましたスタッフをご紹介します。

名前 : 渡邊
 担当 : 本社巡回
 趣味 : フットサル、料理
 一言 : 一日でも早く仕事を覚えられるように頑張ります。



会社情報はホームページを!
<http://tps-s.co.jp/>



ブログも随時更新中です!
 ぜひご覧ください♪

編集後記



皆様、年末年始はどのように過ごされましたか? コロナ禍に加えて寒波が到来し雪が積もりました。外出を控え午前中は毎日のように雪かきをしました。でももっと豪雪になった地域は大変だと思います。県内でも高速道路で大きな事故が発生しました。これからまだまだ寒い日は続くと思いますが、事故や体調に気を付けながら暖かな春が来るのを待ちましょう。

編集委員 鈴木・佐々木・釜澤・西川・高橋

TPS NEWS 2021 2月号

光る輝きをサポートします
 ~究極の夢と空間を追い求めて~

この紙面は「繁栄物語助演会社」として地域の皆様、お客様、社員、お取引先の皆様、そして志を共にする関係業界の皆様のお役に立つために編集されています

繁栄物語助演会社
 株式会社ティ・ピー・エスサービス
 住所 仙台市泉区上谷刈字治郎兵衛下48-3
 電話 022-372-0815
 発行責任者 藤巻 紀夫

今シーズン寒波到来!!

今年の冬は寒波が到来し、各地にて色々な災害が発生しました。2020年から2021年の冬はいつまで寒さが続くのでしょうか! ラニーニャ現象の影響で、日本だけでなく世界的にも大寒波に見舞われ大雪になる可能性もあるそうです。(実際になっています)

弊社でも除雪業務をいただいておりますお客様も昨年は1~2回程でしたが今シーズンはすでに10回以上の除雪作業のご依頼をいただいております。



風雪・大雪・低温に伴うリスク

停電に備えた要確認事項	水道凍結に備えた要確認事項	品薄に備えた要確認事項
 寒さ対策 (防寒着・毛布など) 照明の確保 (懐中電灯) 電源の確保 (モバイルバッテリー)	 凍結防止作業 ・むき出しの水道管や蛇口を布切れなどで覆う ・少しずつ水を出し続ける... など	 食料の確保 ・食料品は少し多めに買っておく 燃料確保 ・車庫用の燃料を少し多めに確保しておく

寒波は大雪だけではなく、見通しがほとんどきかないような猛吹雪に厳重な警戒が必要です。その原因は寒気に伴って急速に発達する低気圧、いわゆる爆弾低気圧の存在です。家屋の被害や交通障害、停電(倒木や雪の重みで電線が切れることで発生)など、大雪により重大な災害が発生するリスクが高まっています。今シーズンはまだまだこの寒さが続くことも予想されます。今回は、寒波に因んだ記事をピックアップしてみました! 大雪に厳重警戒し、不要不急の外出を控え安全確保に努めこの冬を乗り切りましょう。

~社長コラム~

今冬は積雪や寒さが厳しく体調や生活に何かと堪える日々ですね。この様な天候でも暦の上では2月3日節分を迎え、4日は「立春」です。暦の上では寒い冬が終わりを告げて春へと向かう頃となりますが、今年の冬はまだまだ続きそうな気配を感じます。そんな2月は「如月」ですが、別名のひとつに挙げられるのが「梅見月」とも言われるそうです。



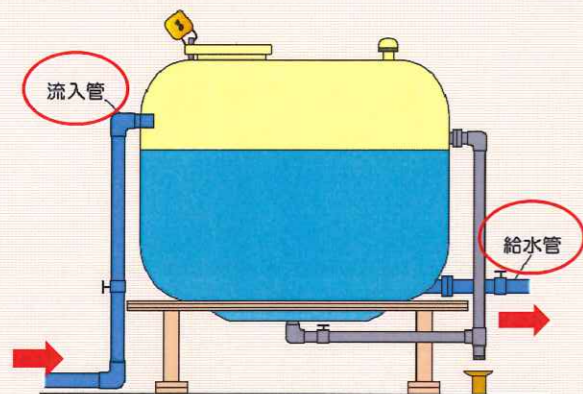
元旦に友人からの年賀状に「梅盆栽」を始めました。そんな近状報告が書かれておりました。私も気になって「梅盆栽」についてネットで検索してみましたら、「花つきがよく強健な樹種なので、初心者の方にもおすすめです」と書かれてありました。さらには、梅は代表的な新春を祝う花物盆栽で降り注ぐ陽光に励まされるように丸く蕾をふくらませ、ぽつぽつと鮮やかに咲く紅梅、白梅の姿。また、ゴツゴツと力強い枝からは想像できない可憐な花の風情とずっと漂う香りが少しずつ春を感じさせてくれる盆栽のようです。盆栽に取り組む自分の姿が想像できませんが(笑)今年初の刺激を受けた情報をキッカケとチャンスに、私も梅盆栽にチャレンジして来年2月号のTPSニュース 社長コラムで紹介できるように心を込めて育ててみようと思います。

斎藤 正人

凍結注意



今回の寒波によって各家庭の水道管や給湯器、マンション等の受水槽の凍結事故も多く発生しました。



受水槽とは、ビル・マンション・学校・病院などや一時に多量の水を使用する建物などで、水道局から水道管を通じて送られてきた水をいったん貯めておく容器のことです。流入管より水を取り入れ、貯めた水を給水管によって利用者に供給しています。その流入管と給水管には凍結防止用のヒーターや断熱材が巻いてあります。そのヒーターが経年劣化することで、性能が低下したり故障してしまうことによって効き目がなくなり、気温が低い日が続くと凍結してしまい断水してしまいます。

実際に受水槽の配管が凍結してしまった現場へ行ってきました。やはり、ヒーターが故障したことで凍結していました。配管のカバーを外してみると中の断熱材にまで水が浸透して凍っていました。凍った断熱材を取り除き、むき出しになった配管をヒートガンを使用して温めながら氷解しました。凍結がなくなり水が流れることを確認した後、新しいヒーターを巻き更に断熱材とテープを巻くという作業を行ってきました。



↑配管に新品のヒーターを取付

↑断熱材の取付

↑テープを巻いて作業完了！

弊社でも貯水槽清掃時等にヒーターの電源や通電の確認をしております。不具合が発見された場合は凍結する前に交換の提案をさせていただきますので、突然の寒波で凍結し断水で不自由な生活を送らないための助けになれば幸いです。

2021 謹賀新年 丑



令和3年1月4日、毎年恒例となっている賀茂神社へ初詣に行ってきました。ティ・ピー・エスサービスの益々の発展と従業員の健康何より、コロナ禍の終息を皆で祈願して参りました。

新型コロナウイルスが拡大する中で、新しい年を迎えることになりました。世界中で感染危機に直面しているように、日本でも減少する傾向は見られません。皆様にはご自身や家族、大切な人を守りながら健やかな日々を過ごして頂きたいです。TPS社員一同もこの危機に出来ることを今一度確認して、コロナ禍を共に乗り越えていきたいと思っています。



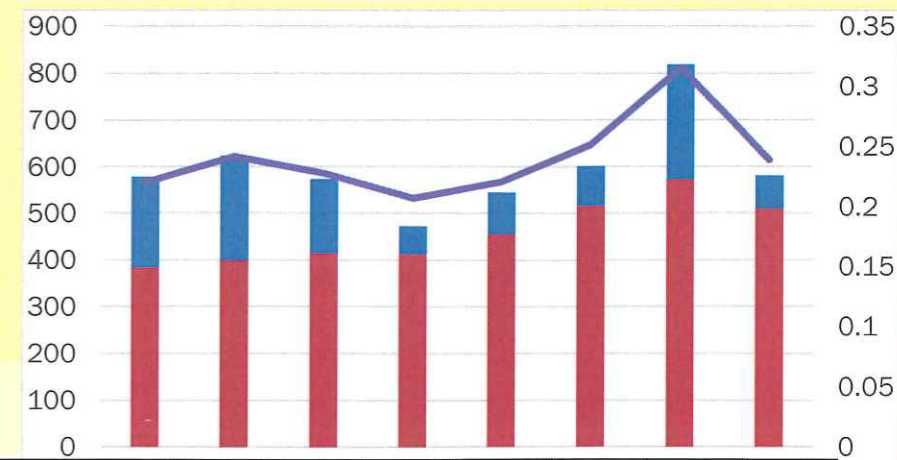
注意!!

1月～2月は **転倒災害** 多発!
「3大原因除去で安全で安心な作業を」

～転倒災害発生状況～

○ 2019年(H31/R1年)に仕事での転倒による4日以上休業は581人。その6割の方は休業が1か月以上の長期にわたっている。

○ 宮城県は降雪・積雪期に非常に多く発生しています。降雪の多かった2018年1～2月には、年間発生件数の38% (311件/813件)を占めている。



	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年
風雪等環境原因による転倒	194	225	159	61	90	85	247	72
風雪等以外による転倒	384	399	414	412	455	516	572	509
合計	578	624	573	473	545	601	819	581
全災害に占める転倒災害割合	22.0%	24.2%	22.8%	20.7%	22.1%	25.2%	31.6%	23.9%

～主な災害の年代別・男女別の発生状況

	10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代		80歳以上		計	
	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性
転倒	1	4	13	19	20	42	39	49	110	59	116	64	20	21	2	2	321	260
墜落、転落	1	2	6	33	9	58	15	78	24	101	16	84	8	20		3	79	379
動作反動、無理な動作		2	23	20	30	56	41	36	40	41	24	28	6	6	1		165	189

○ 転倒災害については、機械による挟まれ災害や高所からの墜落災害などに比べ、その防止の為に取組めること、工夫できることがまだあると思います。取組み状況を点検し、更なる対策をお願いします。

<転倒災害防止の主な原因>

▶ 転倒災害は3種類に大別されます。皆様の職場にも似たような危険はありませんか？

<p>滑り</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 路面の凍結、積雪 ○ 床への水や油の飛散 ○ ビニールや紙など、滑りやすい異物が床に落下 ○ 滑りやすい素材である床 	<p>つまづき</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 床面の凹凸や段差 ○ 通路などに荷物や商品などが放置されている。 ○ 自分が思ったより足が上がらない 	<p>踏み外し</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 床面の凹凸や段差 ○ 大きな荷物を抱えるなど足元が見えない状態での作業 ○ 心理的に余裕のない状態での作業
--	---	--

業種問わず起こる労働災害…我々のようなビルメンテナンス業も例外ではありません。「すみません」で済めば良いですが、取り返しのつかない重大事故も業務多様化の中では充分起こり得る可能性を秘めています。日常から皆さん注意を払って業務を遂行していることと思いますが、今一度初心に立ち返って「安全行動」を見直して頂ければ幸いです。マスタースクールが中々開催されませんがこのように共有していきたいと思っています。